

各地幼稚 園便り

東京 感應幼稚園

青柳 義智代

- 一、園児數 二百五十名
- 一、組の編制 六組。月、花、雪、(年長組)
星、森、山、(年少組)
- 一、職員數 十名(園長一、主事一、組擔任六、給食主任一)
- 一、保育料 參圓五拾錢
他材料費五拾錢
- 一、母の會 會費 各學期金壹圓也
事業 齒科治療事業、講演會、見學、給食當番
- 一、給食 一ヶ月約二十日の給食と概算して、金三圓五拾錢
也納入、保育日數(學期始又は終)少なき月は其都
度概算す

二十餘年前までは驛前の廣場には荷馬車が並んでゐた事、そして運送店のみが印象に残る淋しい新宿驛であつたが、近頃は素晴らしい躍進發展にて、交通量の上からは全東京で一、二を争ふ繁華

な新宿驛に一變してしまつた。驚くべき變化である。而して新宿は昔から甲州街道と青梅街道の分岐點で、武藏野を横切つて、淡々として西に延びてゐる二大街道は此處から分れてゐるのである。さて、感應幼稚園は、その街道の一つ青梅を約十丁程來たところに、設立されてゐる。

今年で設立されてから十七年目、まだ年齢ならば漸く青年期と云ふところが、建設期、成長期にある年代であつて將來あるものと信じてゐる。既に五、六十年の園歴をもつてゐる幼稚園もあるから、本園十七年の歴史では甚だ幼少にして、語るに足る何ものもないと思ふが、然し乍ら創設以來から具に其の足跡を顧ると相當の變遷を經て來たものと思はない譯にゆかない。

その環境から見ても、幼稚園地續きの寶仙寺山内の森もこの十七年間に一變してしまつた。嘗つては、どなたも、「大森林です」と幼稚園の窓から眺めて感嘆して下さつた鬱蒼とした杉の木も、急速に延びて來る大東京の煤煙と塵埃とを被つて、次々に枯死してしまひ、今はまつたくその梯を止めぬまでに減びてしまつた。そして杉の樹間にかくれてゐた樺が杉にとつて代つて、我もの顔に繁茂して、今ではすっかり樺の森に變つてしまつたのである。

本幼稚園も寶仙寺の林相の變遷に劣らず、外觀に、その内容に一變する程の變遷を過して來たと思ふ。十七年前に殖民地の開墾小屋のやうな貧しいバラック建に感應幼稚園の標札が掲げられ、風雨、寒暑の激しい度びごとに心配したり、四十名位な子供を迎

へるのに相當、苦勞した頃と思ひ合せるとき、現在選ばれた二百餘名の園児を擁し、防火壁を有する園舎をもつ今昔の園の姿に、感慨に堪えないものがある。

そして其の頃を思ふとき、いつも乍ら共働者として一千坪に近い園庭の草とり、庭掃除から、便所掃除、水汲み、湯沸しまでいとはずに働いて下さつた職員に對し、感謝の念に頭がさがる思ひがする。背景に大寺院寶仙寺が存在してゐて呉れることはその據りどころとして誠に心強い限りであつたが、本園の今日の生長は寺院の助力のみではなく、實に今日までの共働者の獻身的な協力と、そして本園の教育を贊助せられ、陰に陽にお援せられた母の會員の力もまた強大であつたことを感謝と共に懷想する次第である。

× × ×

本園は、つとに宗教教育として祖先尊崇の教育に力を注いで來た。祖先を尊び、崇ふるは日本精神の華であつて當然のこと、特色として述べるまでもないのであるが、相手が幼兒である所以を以つて、何かと意見がないでもなかつたが、爾來信するところあり創立以來一日も缺かさず祖先尊崇の行事を毎朝繼續して來てゐる。園庭に於ては神社、園内の佛壇に對する行事が即ちそれであつて、毎朝森を通つて集まつて來る子供が九時には全部揃ふので、レコードの行進曲の奏樂を合圖に、園庭號令臺の前面に二百餘名の園児は各組別に縦隊に整列する、そして朝の行事、宮城遙拜、神社拜禮、國旗掲揚、ラジオ體操、行進遊戯（渦巻竝體型行進）



「庭 い じ り」

など整然と行ふことに努めてゐる。神社は幼稚園の神さまとして園庭中央正面に奉祀してあるので、毎朝園庭の行事として神社を拜禮させてゐる。尙佛壇は園舎内に設けられて、やはり園の佛さまとして、庭の行事終つて後、入室させて佛壇に對して必らず合掌の行事を續けてゐる。尙神佛に對する本園の考へ方を簡単に述べるならば、神社は公けの祖先をおまつりしてあるところであり、佛壇は個人の祖先をおまつりしてあると思つてゐる。祖先をおまつる意味からは公私共、相通じてゐる。而して個人の祖先をおまつることにつき意見を唱へるものもあるが、日本人として通有する生活傳統から眺めて、車の兩輪の如く少しの矛盾もなく各家庭に於てまつられてるのであつて、神を尊崇すると同時に、最も身近い一家の祖先である佛をおまつり得ないことは日本人として缺くところあるものと考へてゐる。就ては、神をおまつる心を育てると共に、佛を尊ぶ心の涵養に極力努めてゐる次第である。

而して、神佛は單に飾るべきものではない、誠を致し、儀を正し、供物を供へ、祖靈を慰むる、嚴肅な信仰的な精神を以つてまつるべきものである。其の意味に於て本園に於ては園庭神社の建立並御祭神についても慎重を期したのであつて、御祭神は遠く旅をかけて、大神宮に直接參拜し、親しく大麻をお受け致し嚴におまつり申上げた次第である。そしてその日から、全職員が身を以つて神宮遙拜所としての神社をお守り通すべく日夜お社を聖域として尊崇を期してゐるのである。この信仰的な精神と態度なくして單にお飾り申上げたのでは、教育としての效果至つて薄弱ではない

かと思ふ。また、飾るべきものにあらず、まつるべきものにつき、嚴肅な態度を缺く場合は神への冒瀆でもあると信じてゐる。而して、毎月一日は園庭神社のまつり日と定め、神饌をお供へして、各組別に二拜二拍手の拜禮を以つて參拜することに定めてゐる。

× × ×

保育の新體制として練成養護に力點を措くことは既に申すまでもないこと、そのために充分の研究と努力を拂はるべきは、保育者として國家の要望に忠實なる所以と信じてゐる。本園に於ても、保育の新體制に即應するやう日々努力をおしませ邁進してゐる。その一つとして兩三年前から、園児の體力測定を始めて、現在も毎月續けてゐるが、感ずることは子供の遊具並その遊びに對する興味も、ブランコ、滑り臺と必らずしも固定してゐるものでなく、變化しつゝあると云ふことである。三年前測定を始めた當初は、懸垂、幅跳なども一般に興味が薄く、従つて先生の指導で他動的な態度で行つてゐるに過ぎなかつたのであるが、近時は、國民學校體練の影響からか、本園の指導の成果からか、執れにしても非常に興味を生じ、自ら進んで懸垂に遊び、幅跳びを競つて遊んでゐる。子供は今更乍ら白紙であり、その指導如何で遊びの興味さへ變へられ得ることを痛切に感じてゐる。就ては健康並體力の充實のため、遊具に對しても、運動具の指導に對しても新しい考へ方で再検討の必要を感じてゐるのである。尙、本園児は一千坪の廣い園庭で駆け廻つてゐるので、活動力は極めて旺盛につき、運動具も一般より大型であるのが特徴、幼児の運動具としては規格外

の寸法もないではないが、園児の活動力、體力が基本となるべきものにつき、必ずしも寸法に據らなくとも危険はないと思つてゐる。また運動具の構造や形が極めて素朴である。童話の世界から抜け出したやうな形態よりも、子供は自然、素朴なものを好み、また興味も永續するのである。教育上から考へても素朴自然なものに美しさを、また童話を感じて呉れることを念じてゐるものである。

X X X X

保健養護の特別の施設として、園藝と給食がある。園藝は園庭内に花壇並菜園を經營し、専ら勞作及觀賞、觀察用として活用してゐる。現在晩秋の花壇には眞紅の葉鶏頭が目覺めるやうな色彩で輝き、遊戲室に立つと外庭の眞紅の反射で顔の色も赤く染まるのが見受けられてゐる。花壇はなんと云つても春先きが美しい。チューリップ、水仙、櫻草、花芝の満開の頃が豪華である。野菜園では稻なども試作してゐるが、主として野菜で先日も三十本許り植付けておいたさつま蒔りや大賑はひで實施したところである。

特に本年は南瓜の當り年で四十個許りを收穫して給食用として割烹室に提供した次第である。近頃は隣組菜園の經營が盛んになつたために、日頃食膳で親しんでゐる野菜の生育状態も容易に觀察出来るやうになつて來たが、都會の子供はおかしい程その智識に疎い、例へば芋など初めから水洗ひした、店頭に並んでゐる綺麗なものがなると考へてゐるので驚いたことがある。また園藝を實施して勞作の尊さをいらくと考へさせられることが多い。花など

も好む人は多い、然し好むのは單に綺麗なもの、品物として好むのであつて、往々腹が立つ程手荒で、粗末無慘な取扱ひ方をしてゐるのを見受ける。花も野菜も、精根を傾倒して育て培ふ人は、決して夫れらは物質ではない、いとしき生命あるもの、尊き生あるものであつて、疎略な扱ひ方など出来るものでない。斯うした自然愛の氣持は理窟ではなく、たと園藝の體驗から生れる感覺とも云ふべきもの、幼き心にこの心持を育成し度いと念じてゐる。そのためには先生自身が、その體驗を持つてゐる事が第一に必要であり、またその保育指導にも組織的でなければいけないと思ふ。種まき一つにしてもたと種子を配り、先を争つて無駄にまき散すやうな不用意な園藝ならば、初めから實施しない方が望ましいと思ふものだ。なぜならば一層粗末に扱ふ習慣を徒に育てる結果に終るからだ。

X X X X

給食は物資統制の時代に拘らず、公益事業のために割合に便宜を與へられて、本日まで一日も滞りなく繼續して來た。また幸ひに今後も繼續出来ることを深く喜んでゐる。豫め線香花火式に終つてしまはないやうに、慎重考慮して着手した甲斐あるものと思ふ。組織、方法等は度々發表してゐるので、今度は最近の十月第二週の献立表を掲げるにとゞめる。

十月献立(第二週)

感應幼稚園給食部

月日	獻立	母の會員	月日	獻立	母の會員
五日(月)	甘藷御飯 豆腐汁 キャベツ 胡瓜のみ		八日(木)	曙御飯 お辛きんとん、 香の物	
六日(火)	カレー入炒飯 南瓜含煮 なます		九日(金)	三色弁 紅茶、刻み澤庵	
七日(水)	丹波すし やき駄すまし かつた田麩		十日(土)		

この獻立表は毎週水曜日に給食主任が立案して幼稚園の家庭通信と併せて發表することに決めてゐる。給食部主任は、保姆兼榮養士で保育との連絡を密にしてゐることが本園の特色で、保姆兼榮養士に養成するために一ケ年を要するので、現任者の後任として保姆一名を現在も給費生として女子榮養學園に通學させて將來に備へてゐる次第である。物資不足の折柄に拘らず、幸ひに獻立に支障を來たさず、各家庭からも非常に感謝され、また子供の健康の根本である榮養問題も解決出来ることを限りなく喜んでゐる。

× × ×
 以上は本園のつたない歴史と現状で、大切な貴重な紙面を頂いて恐縮してゐるものであるが、最後に一言、東京府私立幼稚園界のことを追記させて頂き度いと思ふ。先般東京府學務部の積極的な御指導のもとに、東京府管下三百有餘の私立幼稚園が、私情を捨て大同團結して、東京府私立幼稚園協會設立に至つたことは、私立幼稚園のため、また大きくは日本幼児保育界のため同慶に堪

えないと思ふ。不偏不黨、ひたすら國民保育の大旗をかざし、保育御奉公の心意氣で協會員一丸となつて健かなる發展をして呉れることを、本園も私立幼稚園として、また一會員として心から祈りつゝ、筆を擱くものである。

今治市 昭安幼稚園

田 坂 ユ キ

- 一、創 立 昭和二年五月五日
- 一、所 在 地 今治市大手通
- 一、敷地坪數 百九十坪
- 一、園 舍 木造スレート葺二階建 棟 數 二 棟
- 一、園 舍 建坪數 六十八坪
- 一、幼兒數 百二十名
- 一、保 姆 園長外 三名
- 一、組 分 三 ッ
- 一、經營主體 個人經營
- 一、幼稚園 總經費豫算(十七年度)三千百拾三圓也
- 一、維持方法 1、今治市役所補助金
- 2、保育料及入園料
- 3、設立者負擔
- 4、母姉後援會